

## 県外の幼児教育支援センター、幼児教育関連事業の様子

### 【1】福井県

#### 1 幼児教育関連事業の経緯

- ・平成23年9月「福井県教育振興基本計画」策定  
基本理念「夢と希望に向かって、豊かな心でたくましく生きる力を育む 教育県・福井」
- ・0歳から高校卒業までの発達段階に応じて教育に一貫性を持たせる「福井型18年教育」を掲げ、幼児期をそのスタート期として位置づけ、「生きる力につながる確かな学力の育成」のため幼児教育を推進。
- ・「福井県幼児教育支援プログラム」の策定

#### 2 福井県における幼児教育の課題

- ・3歳児の就園率97.5% 5歳児の就園率100% 待機児童なし
- ・行政分野での所管が分かれていることが影響し、幼児教育現場においては交流・連携が少ない。
- ・幼保小では、相互の教育内容を理解、共有し、連携して同じ子どもを教育する意識が不足、連携するための制度が十分に整っていない。
- ・資質向上を図るための研修体系・体制の未整備

#### 3 基本コンセプト『つながりの力で子どもたちに豊かな心、笑顔、希望を』

- ・つながりの力・・・幼児教育に携わる者のつながり・家庭・地域とのつながり
- ・豊かな心、笑顔、希望…規範意識、人間関係力、夢を育む力

#### 4 施策の具体

- ・幼保連携推進プロジェクト
  - 施策① 幼児教育キャリアアップシステムの創設
  - 施策② 先生応援隊の創設
  - 施策③ 先生による研究グループの設置
  - 施策④ 幼児教育のリーダーの養成
  - 施策⑤ 幼児教育講座の開催
- ・幼児教育推進体制整備プロジェクト
  - 施策⑥ より高いレベルの幼児教育を担うための体制強化
  - 施策⑦ 保育所・幼稚園への巡回訪問
  - 施策⑧ 幼児にとって楽しい園庭遊びの促進
- ・福井型保幼小接続システム
  - 施策⑨ スタート・アプローチカリキュラムに基づく教育の推進

- 施策⑩ 個々の特性に対応した支援
- ・親力向上プロジェクト
  - 施策⑪ 親力アドバンスコース事業による幼児教育力の向上
  - 施策⑫ 親力ステップアッププログラムの推進
  - 施策⑬ 家庭教育の質を高めるアドバイザーの配置
- ・孫育てプロジェクト
  - 施策⑭ 孫育てガイダンスの実施
- ・遊び活性化プロジェクト
  - 施策⑮ 知育玩具の普及
  - 施策⑯ 興味・関心を引き出す加古里子絵本セレクションの普及
  - 施策⑰ 童謡や唱歌を通じた家族のふれあい促進
  - 施策⑱ 親子自然体験学習の推進
  - 施策⑲ 幼児食育の体験学習の推進
- ・幼児教育推進体制
  - 幼児教育支援センターの設置
  - 幼児教育力向上会議の開催

**【福井県の取組から】**

- ・幼・保・小、地域・家庭等の連携の在り方に課題をとらえ、キーコンセプト「つながり  
の力で子どもたちに豊かな心、笑顔、希望を」を共有
- ・「つながり」という課題を細分化し、それぞれに直結する施策・事業を展開
- ・「豊かな心、笑顔、希望」目指して、育みたい力（規範意識、人間関係力等）の明確化
- ・地域性を生かした事業展開（地元作家絵本セレクション、自然体験学習、幼児食育体験  
学習）

# 福井県幼児教育支援プログラムの概要

## I 本県幼児教育の現状と課題

### 1 保育所・幼稚園における幼児教育

- ① 待機児童がない（3歳児以上はほぼ100%、2歳児未満の就園率も高い）。
- ② 保育所と幼稚園の交流が少ない。
- ③ 保育所・幼稚園と小学校が連携するための制度が未整備。

### 2 家庭における幼児教育

- ① 共働き世帯（保護者）が多く、園に依存する傾向。
- ② 家庭教育力の低下とともに、幼児の基本的生活習慣も不足。

### 3 幼児の生活

- ① 幼児は幼稚園等で過ごす時間が長い。
- ② 幼児同士で遊ぶ機会や野山・自然に触れる経験が少ない。

### 4 「福井型18年教育」に基づくこれからの幼児教育

- ① 「福井型18年教育」のスタート期に当たる幼児教育を推進
- ② 小学校教育の基盤となる規範意識や規則正しい生活習慣を習得。

## II 基本コンセプト

つながりの力で子どもたちに豊かな心、笑顔、希望を

推進期間 平成25年度～平成29年度（5年間）

### 1 つながりの力

- ① 保育所・幼稚園と小学校とのつながり  
保育所・幼稚園が課題や知識、経験を共有し、小学校へと円滑につなげていく
- ② 親と子のつながり  
親子のつながりは、幼児の心身の発達・成長の基本

### 2 豊かな心、笑顔、希望

- ① 規範意識 集団生活を通して、幼児が人とのかかわりを深める中で、規範意識を培う
- ② 人間関係力 相手を思いやる気持ちを醸成し、感じる心を育む
- ③ 夢を育む力 目標を立ててチャレンジする意欲を高め、夢を育む力を伸ばす

## III 施策体系と推進体制

### 1 保育所と幼稚園の連携を強める

#### 幼保連携推進プロジェクト

- 施策① 幼児教育キャリアアップシステム（仮称）の創設
- 施策④ 幼児教育のリーダーの養成

- 施策② 先生応援隊（仮称）の創設
- 施策⑤ 幼児教育講座の開催

- 施策③ 先生による研究グループの設置

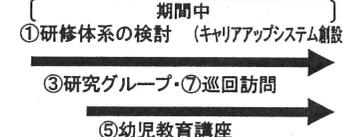
#### 幼児教育推進体制整備プロジェクト

- 施策⑥ より高いレベルの幼児教育を担うための体制強化

- 施策⑦ 保育所・幼稚園への巡回訪問

- 施策⑧ 幼児にとって楽しい園庭遊びの促進

H24 H25 H26 H27 H28 H29



### 2 保育所・幼稚園と小学校をつなげる

#### 福井型保幼小接続システム

- 施策⑨ スタート・アプローチカリキュラムに基づく教育の推進

- 施策⑩ 個々の特性に対応した支援

H24 H25 H26 H27 H28 H29



### 3 家庭の幼児教育力を高める

#### 親力向上プロジェクト

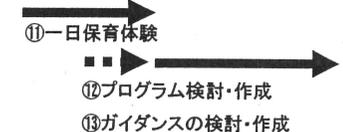
- 施策⑪ 親力アドバンスコース事業（一日保育体験）による幼児教育力の向上
- 施策⑬ 家庭教育の質を高めるアドバイザーの配置

- 施策⑫ 親力ステップアッププログラムの推進

#### 孫育てプロジェクト

- 施策⑭ 孫育てガイダンスの実施

H24 H25 H26 H27 H28 H29



### 4 豊かな感性を伸ばす遊び・体験を促す

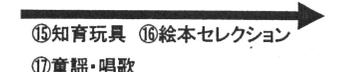
#### 遊び活性化プロジェクト

- 施策⑮ 知育玩具（グッド・トイ）の普及
- 施策⑰ 童謡や唱歌を通じた家族のふれあい促進

- 施策⑯ 興味・関心を引き出す加古里絵本セレクションの普及

- 施策⑲ 幼児食育体験学習の推進

H24 H25 H26 H27 H28 H29



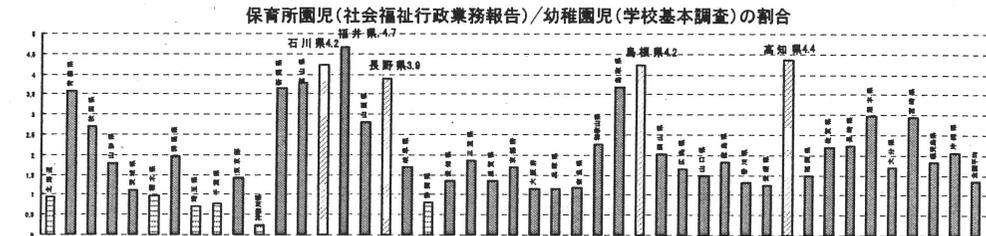
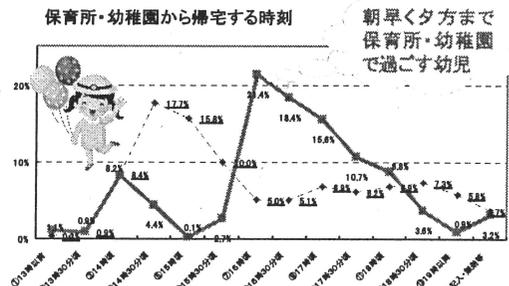
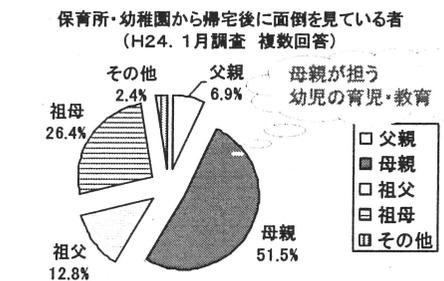
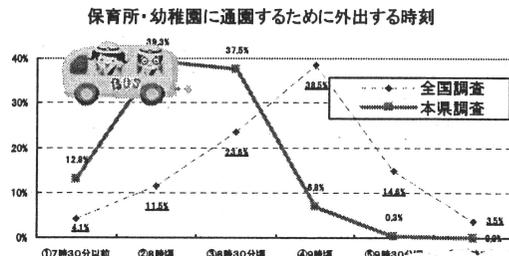
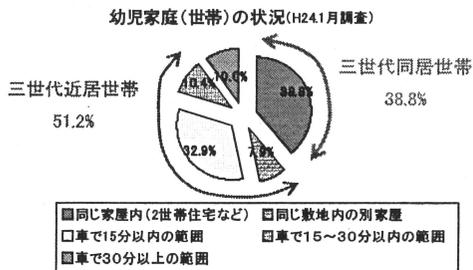
### 5 推進体制

#### 幼児教育支援センター・幼児教育力向上会議の設置

- ① 幼児教育支援センター 幼児教育の情報・研究・研修機能を有する県内唯一の専門機関
- ② 幼児教育力向上会議 プロジェクトの進行管理や新たな制度創設等を協議

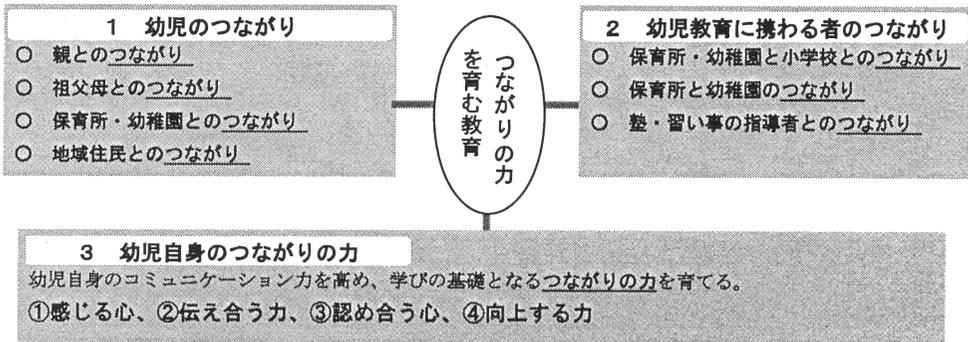
# 福井県幼児教育支援プログラム～中間とりまとめ案～の概要

## I 本県幼児教育の現状 ～9割が三世代同居・近居、長時間の園生活～



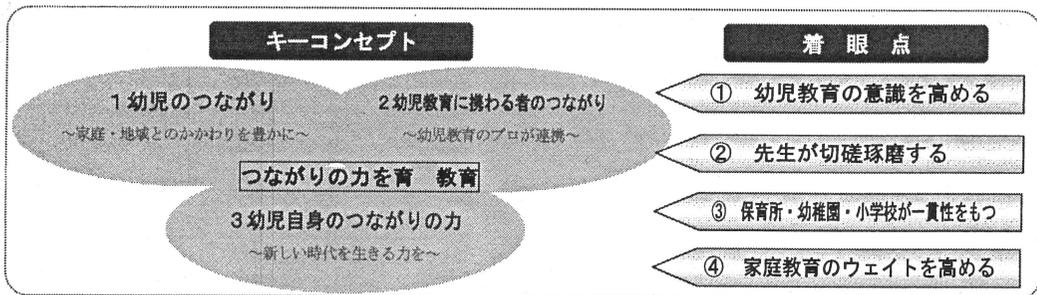
## II 基本的な考え方 ～つながりの力を原動力に～

### 1 幼児教育支援プログラムのキーコンセプト ～福井の絆を幼児教育に～



### 2 “つながりの力”による具体的な施策展開のための着眼点

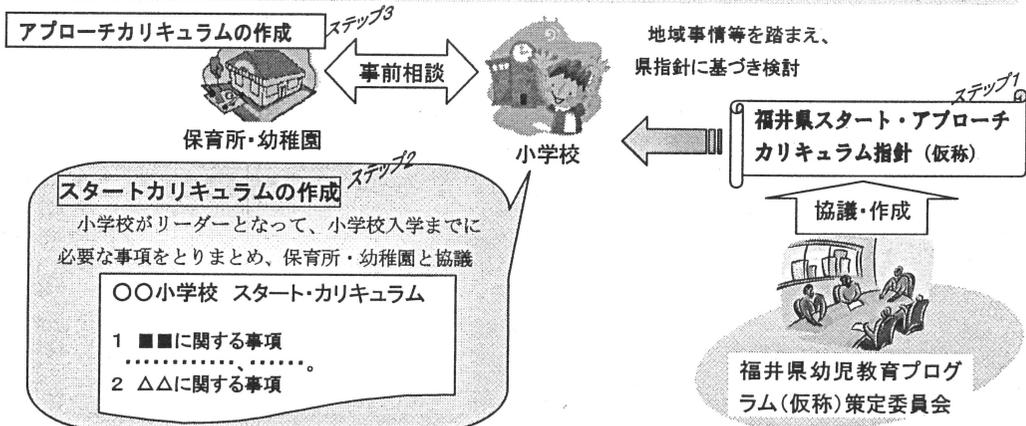
- ① 幼児教育への意識を高める
  - 保護者をはじめ県民に広く幼児教育の意義と重要性を周知
  - 幼児教育を通して県民総ぐるみで幼児期の子どもたちを育む機運を醸成
- ② 先生が切磋琢磨する
  - 先生もその意欲や自主性に従い、幼児教育の向上に向けたスキルアップをできる環境を整備
- ③ 保育所・幼稚園・小学校が一貫性をもつ
  - いわゆる小1プロブレムなどの課題解決や、異なる位置付け、文化を持つ保幼小の融合
  - 融合により、新たな“気づき”を幼児教育の向上につなげるために、新たな保幼小連携を推進
- ④ 家庭教育のウェイトを高める
  - 家庭教育のレベルアップを応援して、保育所・幼稚園への過度の依存を軽減



## III 幼児教育支援プログラムに掲げる施策

### 幼児教育に携わる者のつながり ～幼児教育のプロの連携～

- ① スタート・アプローチカリキュラムの作成
  - 「保幼小連携のためのスタート・アプローチカリキュラム指針(仮称)」の作成  
基本的な考え方や方針を内容とする県指針の作成
  - 小学校がリーダーとなってスタートカリキュラムを作成  
これを受けて、保育所・幼稚園では年長(5歳)児を対象とするアプローチカリキュラムを作成



## 【2】栃木県

### 1 幼児教育関連事業の経緯

- ・栃木県総合教育センター幼児教育部（栃木県幼児教育センター）
- ・教育活動の更なる充実を図り、幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境を整え、一人一人の資質・能力を育てていくことは幼児教育に携わるすべての大人に期待される役割
- ・「栃木県教育振興基本計画 2020－教育ビジョンとちぎ－」の基本施策「幼児教育の充実」

### 2 基本方針

- ・幼児教育と小学校教育の連携の進化・拡充
- ・教育・保育の質の向上
- ・幼児期の子どもを持つ保護者への支援

### 3 施策の具体

- ・幼児教育と小学校教育の連携の進化・拡充
  - 施策① 栃木県幼少連携推進会議
  - 施策② 幼少ジョイントプロジェクト
  - 施策③ 合同研修〔幼少〕
  - 施策④ 幼少連携推進者養成研修
  - 施策⑤ 教育・保育アドバイザー事業
  - 施策⑥ 障害のある子どもの支援情報の引継ぎ
- ・教育・保育の質の向上
  - 施策⑦ 研修の充実
  - 施策⑧ 教育・保育アドバイザー事業
  - 施策⑨ 情報の提供
  - 施策⑩ 研究調査
  - 施策⑪ 指導者養成のための人材の育成
  - 施策⑫ 多様な運動経験の啓発・推進
- ・幼児期の子どもを持つ保護者への支援
  - 施策⑬ 子育ての支援に関する研修の充実
  - 施策⑭ 情報誌「おうち」による情報の提供
  - 施策⑮ 教育・保育アドバイザー事業
  - 施策⑯ 家庭教育に関する学習機会の提供
  - 施策⑰ 家庭教育に関する情報提供・相談体制の充実
  - 施策⑱ 家庭教育支援者の養成

#### 【栃木県の取組から】

- ・行政分野において所管が分かれて行われている事業を3つの基本方針のもと精緻化して明示。（実際の事業間の連携やつながりがあるかは不明）
- ・施策・事業推進に当たり、県、市町、幼保、小の役割を明確化
- ・「とちぎの幼児教育」を支える環境づくりとして各種助成の充実
- ・栃木幼児教育センターからリーフレットやQ&Aなどの情報発信

# 栃木県幼児教育センター

## 設立の目的

幼児期は、人間が成長・発達をしていく上での基盤づくりを担う重要な時期であり、活力に満ち、心豊かで創造性に富み、新しい時代を切り拓いていく子どもを育てるためには、幼児教育に携わる教職員の資質の向上や保育・教育環境の整備・充実が求められています。

栃木県幼児教育センターは、幼児教育の中核的施設として、幼稚園、保育所、こども園、小学校の連携を推進しながら、栃木の子どもの幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境の整備を目指します。

## 事業の案内

栃木県幼児教育センターでは、国立、公立、私立の枠を越え、すべての幼稚園・保育所・こども園・小学校の教職員等を対象に、以下の4つの柱で各種事業を展開していきます。

### ① 幼小の連携を推進します

県における連携推進はもちろん、各市町・各地域における幼稚園、保育所、こども園、小学校の連携を推進します。

- ☆ 幼小連携推進会議の開催
- ☆ 幼小ジョイントプロジェクトの実施



幼児教育センター情報誌「おうち」

### ② 教育・保育の質の向上を図ります

幼稚園・保育所・こども園・小学校の教職員を対象とした研修、教職員に対する支援、幼稚園・保育所・こども園での家庭教育や子育て支援の援助を行います。

- ☆ 各種研修(合同研修、幼小連携推進者養成研修、新規採用幼稚園教諭研修、幼稚園教職5年目研修、幼稚園教職10年経験者研修、特別支援教育研修など)の開催
- ☆ 教職員に対する支援
- ☆ 教育・保育アドバイザーの派遣



各種リーフレット・冊子等

### ③ 幼児教育に関する情報を提供します

幼児教育に関する各種の情報を広く提供していくとともに、教職員同士のネットワークづくりを支援します。

- ☆ 幼児教育センター情報誌「おうち」による情報の提供
- ☆ ホームページによる情報の提供
- ☆ ビデオライブラリーによる情報の提供

### ④ 幼児教育に関する調査研究を行います

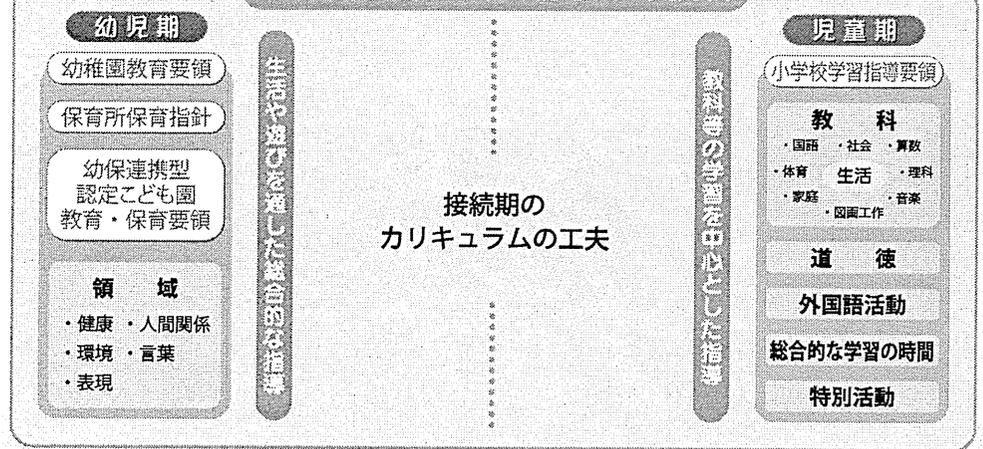
幼児教育や、幼小の連携等にかかわる今日的な課題についての調査研究を行い、その成果を広く発信・提供していきます。

- ☆ 調査研究委員会の開催
- ☆ 家庭における幼児教育等の実態調査
- ☆ 各種リーフレット・冊子等の発行

# 幼児教育の成果を 小学校教育へ

～幼稚園・保育所・こども園・小学校の連携推進に向けて～

## 遊びから学習への滑らかな接続

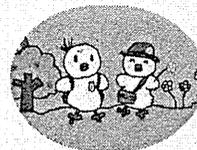


## 基本理念

とちぎから世界を見つめ  
地域とつながり 未来に向かって  
ともに歩み続ける人間を育てます



「栃木県教育振興基本計画2020-教育ビジョンとちぎ-」



栃木県幼児教育センター  
(栃木県総合教育センター幼児教育部)

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1,070 番地  
TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

# 幼小連携のさらなる充実のために

## 子どもの交流活動

先生同士の打合せ



一緒に学校探検



小学校へようこそ



- Point!**
- 幼児・児童の双方のねらいを明確にし、互いに学びのある活動を展開しましょう。
  - 年間計画に位置付け、幼稚園や保育所、こども園と小学校と一緒に活動の立案・実施・評価を行うことが望まれます。

## 教職員の相互理解

相互の職場体験



保育・授業の相互参観と協議



合同の研修会



- Point!**
- 保育や授業を相互に参観したり体験したりして子どもの発達や学びに視点をおいて話し合いましょう。
  - 幼稚園・保育所・こども園・小学校の教職員と一緒に研修に参加し、互いの教育について積極的に語り合いましょう。

## 連携組織の設置

- 幼小連絡協議会
- 幼小連携推進委員会 等



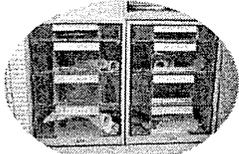
連携の様々な取組が、効果的に行われるようコーディネートする役割があります。

## 連絡体制の整備

園だより・学校だよりによる情報交換



教育委員会内の使送ボックス  
(幼稚園・保育所・こども園宛て)



定期的な情報交換会



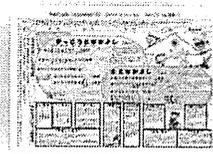
- Point!**
- 連絡体制の整備は、行政機関が中心となって進めることが大切です。幼稚園、保育所、こども園、小学校が積極的に意見を交換し、地域の特色を生かした組織をつくりましょう。
  - 教職員が互いの顔や名前が分かり、日常的に情報交換をしたり相談したりするなど、定期的・継続的な連携が望まれます。

## 一貫性のある指導計画の作成

伝え合う力を育てるための  
年長から一年生へのカリキュラム



入学当初のスタートカリキュラム



- Point!**
- 子どもの発達を把握し、見通しを持って指導することが必要です。そのためには、育てたい子どもの姿や、能力などを互いに話し合い、どのような指導がどの年齢で必要か明らかにします。
  - それらを踏まえ、幼児期の「遊び」を充実させ、児童期の「学習」に生かしていくために適切な手立てをカリキュラムに位置付けましょう。

## 幼小連携を推進することで

### 子ども

- ☆ 一人一人の発達や学びの連続性が保障されます。
- ☆ 自分や友達のように気づき、遊びや学びが広がります。

### 教職員

- ☆ 子どもの発達段階を知ることで、教職員の子ども理解が深まります。
- ☆ 互いの教育を理解することで、自身の教育観が広がります。

### 保育・授業

- ☆ 幼児教育から小学校教育への滑らかなカリキュラムの接続により、改善・充実が図れます。

栃木県幼児教育センターは、幼小連携の取組をサポートします。

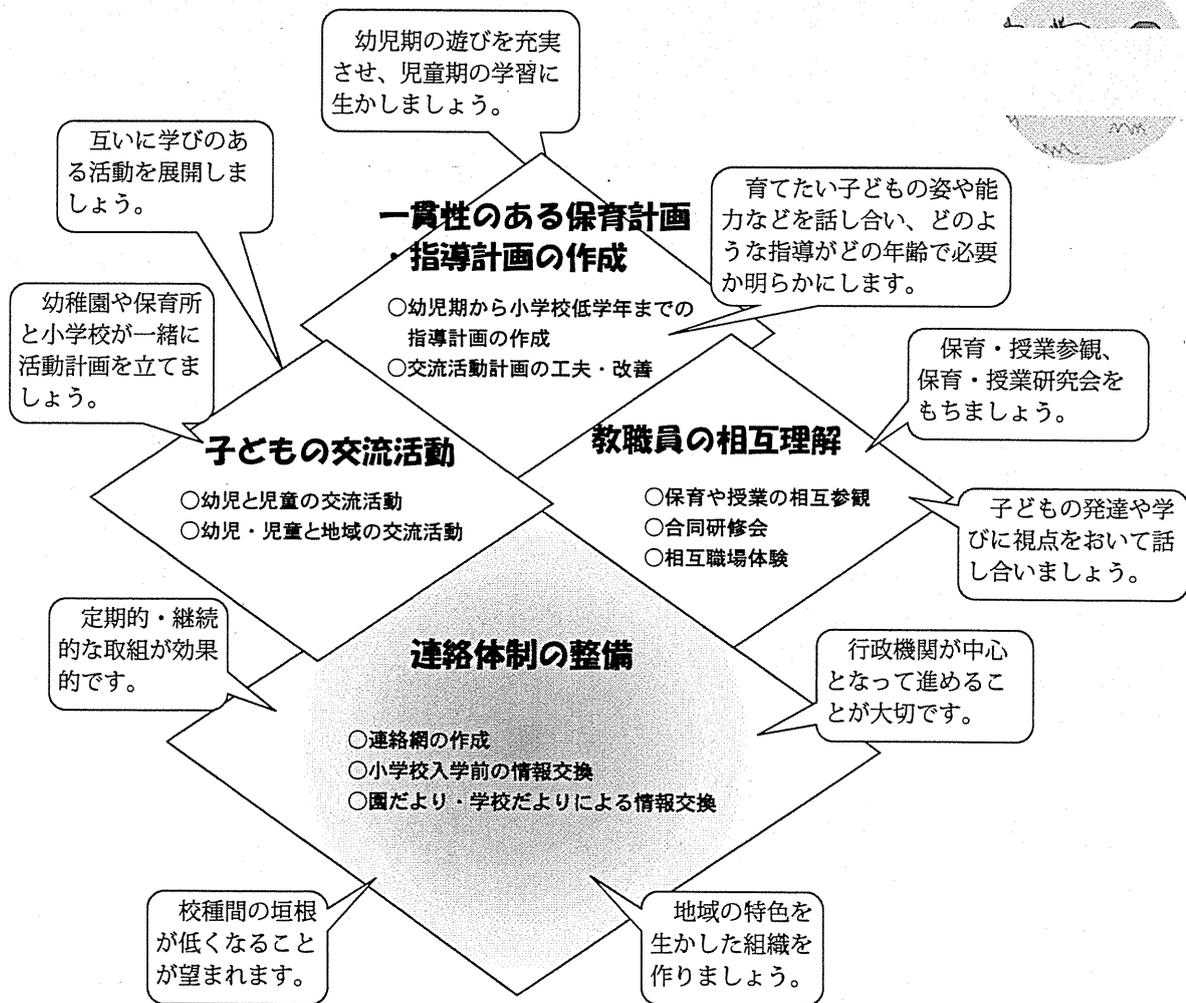
連携に関する講話・研修・保育及び授業研究会などにアドバイザーを派遣します。お電話ください。

【連絡先】 TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216  
E-mail yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

# とちぎの幼・保・小連携 Q&A

幼・保・小連携の基本は、「生きる力」の基礎となる幼児教育の成果を小学校教育に生かすということです。栃木県では、幼児期から児童期の子どもの発達段階を踏まえた指導の充実を目指し、幼・保・小連携を推進しています。

## ◆ とちぎの幼・保・小連携 ～具体的な取組～ ◆



このリーフレットは、本県の幼・保・小連携の基本事項をまとめたものです。幼・保・小連携はなぜ必要か、どのような取組があるかなどの疑問があるとき、あるいは、教職員同士の共通理解を図りたいときの参考にしてください。